

CTL プロジェクトの紹介

①学生の教育力活用プロジェクト

学生の教育力活用プロジェクトでは、学生の教育力を活用した授業のための制度整備、学生スタッフへの研修をすることで、質の高い学習・教育の振興に寄与することを目指しています。本学には、教員の教授を支える「TA（ティーチングアシスタント）制度」、初年次科目におけるグループワークのファシリテートをするなど学生の学

びを支える「LA（ラーニングアシスタント）制度」があります。これらの制度を主軸に、学生の教育力を活用した学習・教育の質向上を推進していきます。また、学習支援に関する諸組織とも連携をとりながら活動をすすめていきます。

（教育推進部 岩崎千晶）

②ICT活用授業の普及活動

これからの社会を生き抜く大人には、ライフロング・アクティブ・ラーナーとしての素養と信頼を得るためのアドバンスト・コミュニケーションのための高度なICTリテラシーが必須となります。このプロジェクトでは、ライフロング・アクティブ・ラーニング環境で活用できるシンキングツールやICTを活用した学習環境の普及・啓蒙を目指していきます。

例えば、6月の第12回日常的FD懇話会では、母国語及び外国語でのライティング支援、理数系のレポート課題の提出・添削によるアドバイス・再提出までをICTで一元管理し、ピアレビューによるアクティブ・ラーニング環境、効率よく質の高い学びを保証するICTを情報共有させていただきます。

（教育推進部 山本敏幸）

③ライティング支援プロジェクト

ライティング支援プロジェクトでは、平成24年度に文部科学省大学間連携共同教育推進事業に採択された取組「〈考え、表現し、発信する力〉を培うライティング/キャリア支援」を推進しております。学内3ヶ所に設置された「ライティングラボ」におけるライティング支援を中心に、

「文章表現ワンポイント講座」の開催や、「書く力」をめぐる評価指標の開発と運用、ライティング支援に特化したeポートフォリオの開発と運用など、学生の学びを支援する様々な活動に取り組んでいます。

（文学部 中澤 務）

④アクティブ・ラーニング

教育開発支援センターでは本学にアクティブ・ラーニングが浸透することを願って、学生の学習が主体的、活動的なものになるような知見や情報の提供・共有あるいは創出に尽力しています。特に、平成26年度に文部科学省大学教育再生加速プログラムに採択された『21世紀を生き抜く考動人 Lifelong Active Learnerの育成』において、

これまで取り組んできたLA（Learning Assistant）の活用と育成を精力的に継続するとともに、交渉学を大きな柱とした取組により、創造的な思考と責任ある行動を実践していく社会人の基礎力の涵養を目指しています。

（教育推進部 三浦真琴）

⑤学習環境デザインプロジェクト

2013年度に発足した学習環境デザインプロジェクトでは、質の高い学習・教育の促進を目指した学習環境をデザインすることを目的としております。具体的にはコラボレーションcommons、図書館ラーニングcommons、サテライトステーション2など、授業外の学習環境における

学びの場のデザイン、機材や什器等の整備を行います。ならびにcommonsで提供する学習支援の企画、実施、評価をすることで、よりよい学習環境の構築を目指しています。

（教育推進部 岩崎千晶）

⑥成果指標検討

現在、本プロジェクトでは、教学IRの推進と初年次教育に関するcommon・ルーブリックの作成の2本の柱を中心に活動を行っています。いずれも学習を評価することで教育改善を目指すものですが、それにとどまらず、その評価を直接、学生が自らの学習状況として把握でき

るツールとしても活用することで、学生の学びに関する主体性を喚起できるのではないかと考えます。直接活用、間接活用も含め、より学生の学びのサポートのあり方を検討していきます。

（教育推進部 森 朋子）

ライティング(文章作成)力向上のため、
しています。

ライティングラボに関する詳しい情報はホームページ
(Facebook、Twitterを含む)まで。



地方ワンポイント講座

レジュメの作成ポイントなどの応用的なテーマ)で講座を4つのキャンパスで開催します。日程やテーマの詳細情報は、インフォメーションシステム、学内掲示、ライティングラボホームページ(FacebookやTwitterを含む)でも随時お知らせしています。先生方も学生に参加をすすめていただけましたら幸いです。



(3)「考動力」作文コンテスト

伊丹市教育委員会協力のもと、作文コンテスト(小論文とショートショート)の2部門を開催しています。文章を書くことを通じて培った考える力・表現する力を発信する場として、昨年度はゼミ単位で応募して下さる先生もいらっしゃいました。ご関心のある先生方は、「ライティング力を試すきっかけ」として、ぜひ学生に応募をおすすめください。

